



千屋小学校ホームページは「**新見市立千屋小学校**」で検索するとご覧になることができます。



校長の論語(long) 論語(long) ago! (昔むかし)

<5月の論語>

① 子曰わく、徳は孤ならず。必ず鄰あり。

・先生の言葉 徳のある人というのは、決して孤立することはない。必ずその人のことをよく理解してくれる仲間や協力者が現れるものである。(徳にもいろいろあるが、一つの徳が身に付けば、必ず他の徳も身に付いてくるものである。)

※「徳」とは、善い行い・正しい行いをする事が身に付いていること。

② 子曰わく、君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず。

・孔子の言葉 教養・徳性を身に付けた君子は、人と協調・融和できる。だからといって考えもなく人の意見に同調することはない。しかし、教養も徳性も身に付いていない人たちは、自分の意見も持ち持っていないので、簡単に人の意見に同調するが、自分の周りの人と協調できない。

※「クマ先生と読む論語」 森熊男著より

校長室の窓から ～明地トンネルの思い出～

千屋小学校から国道180号線を5kmほど北上すると、明地トンネルがあります。春季遠足では、この明地トンネル入口付近の登山道から剣山へ登りました。

明地トンネルを間近に見た際、ふと幼少期のことを思い出しました。明地トンネルは、1974年(昭和49年)3月、今から約50年前に竣工しています。全長1130mで岡山県新見市千屋と鳥取県日野郡日野町を結び、明地峠にあります。当時の私は小学校への入学前後だったと思いますが、父から長いトンネルができたので連れて行ってやると、軽四輪自動車に乗って出かけたことを思い出しました。今は1000mほどのトンネルは決して長くはありませんが、その当時は珍しかったのかもしれませんが。季節はよく覚えていないのですが、竣工したのが3月ですから、春だったのでしょうか。しかし、その日はトンネルに近づくにつれて雪が舞い、かなり積雪があり、父の運転が大変そうだった記憶があります。結局、トンネルを通り抜けただけで、折り返して帰宅しました。

その時はトンネルを見に行っただけにしか思っていませんでしたが、今考えると明地トンネルの完成は、その当時の人達の悲願であり、生活に潤いをもたらすものであったに違いありません。実際、私の住んでいる哲多町から新見市正田へ通じる正田トンネルが完成したときには、便利になった、安全になったと感じたのも確かです。

普段トンネルや道路、橋などを何気なく通ったり渡ったりしていますが、それぞれの物の完成にはその地域のいろんな人達の思いや願いが込められていると、改めて考えさせられました。



学習サポート開始!

5月に入り、毎年行っている学習サポートが始まりました。学習ボランティアのみなさんに教えていただきながら、ドリルやプリントを進めます。

今年も1年間どうぞよろしくお願いします。



6月の主な行事

1日(木): プール掃除
6日(火): PTA事業部会 18:30~
7日(水): 学習サポート事業
8日(木): 花いっぱい集会
9日(金): 教育委員学校訪問・プール開き
12日(月): 放課後子ども教室(おし歯予防)

13日(火): 租税教室
18日(日): 資源回収・アダプト事業
22日(木): 放課後子ども教室(造形教室)
27日(火): 不審者対応訓練・防犯教室
30日(金): 参観日・親子給食(1年)
救急法講習会・学級懇談
宿泊研修・修学旅行説明会



※ QRコードを読み取ると千屋小HPにアクセスできます。

